

第28回頭頸部放射線研究会東京部会プログラム (14:00~15:45)

第28回胸部放射線研究会東京部会プログラム (16:00~18:15)

一般演題 (14:00~15:00) (発表5分, 討論3分)

- 1. Pleomorphic adenoma versus Warthin tumor: MR images with pathological correlation
千葉大学医学部附属病院・放 同・耳鼻¹⁾
本折 健, 山本正二, 植田琢也, 池田充顕, 伊東久夫, 武藤博之¹⁾, 仲野公一¹⁾
要旨: 耳下腺あるいは顎下腺腫瘍疑いで MR を行い病理学的に pleomorphic adenoma であった 29 患者 31 腫瘍と, Warthin tumor であった 18 患者 22 腫瘍各々の MR images (T1WI, T2WI, STIR, diffusion weighted images, dynamic study) の特徴と病理切片とを対比し, 両腫瘍の MR images における判別も retrospective に行った。
- 2. 咀嚼筋間隙に発生し神経周囲性進展を来した炎症性偽腫瘍の一例
聖マリアンナ医科大学・放 同・リウマチ膠原病ア¹⁾ 同・耳鼻²⁾ 同・第2病理³⁾
小川普久, 石川牧子, 廣田浩一¹⁾, 堤康一郎²⁾, 小田中美恵子³⁾, 中島康雄
要旨: 58 才女性。主訴は右側頭痛及び開口障害。右上臼歯を抜歯後に右側頭痛及び開口障害が出現。CT, MR で左上顎洞の粘膜肥厚と左側頭窩下から海綿静脈洞にいたる腫瘤を認め, 生検により炎症性偽腫瘍と診断された。
- 3. Superior canal dehiscence syndrome の画像所見及び臨床
東京慈恵会医科大学・放
尾尻博也, 福田国彦
要旨: 最近, 眩暈の原因のひとつとして報告された "superior canal dehiscence syndrome" の CT 所見を示す 3 例を経験したので, 画像所見とともに文献的考察を含めて報告する。
- 4. 頸動脈間隙に発生し, 高度の腫瘍内出血をきたして死亡した滑膜肉腫の一例
昭和大学横浜市北部病院・放 同・耳鼻¹⁾ 同・病理²⁾
浮洲龍太郎, 榑橋民生, 藤澤英文, 北之園高志, 市川珠紀, 武中泰樹, 馳澤憲二, 柳裕一郎¹⁾, 佐久間貴章¹⁾, 池田尚弘¹⁾, 門倉義幸¹⁾, 塩川 章²⁾
要旨: 75 歳, 男性。主訴は右頸部腫瘍, 嚔声。右頸動脈間隙に MRI で不均一に造影される紡錘状腫瘍がみられ, 内部に出血巣を伴っていた。生検で滑膜肉腫と診断されたが, 3 週間後に高度の腫瘍内出血で死亡した。
- 5. 耳下腺良性リンパ上皮性病変(BLEL)の二例
旭川医科大学・放
佐藤宏朗, 高橋康二, 中村俊介, 山品将祥, 八巻利弘, 廣田初音, 稲岡 努, 長沢研一, 山田有則, 峯田昌之, 油野民雄
要旨: 耳下腺多発性充実性腫瘍の鑑別診断を絞り込むことは通常困難であるが, 核医学的所見から BLEL を示唆することが可能であった 2 例を経験したので報告する。
- 6. 縦隔気腫における気腫の頸部進展経路の検討
大田原赤十字病院・放
加藤弘毅, 水沼仁孝, 清水敦夫, 館野展之
要旨: 縦隔気腫 5 症例 (喘息発作による発症 2 例, 嘔吐を契機とする発症 1 例, 特発性 2 例) において咽喉頭周囲の間隙の解剖に基づき, 進展経路形式を検討した。咽頭後隙および頸動脈間隙のほかにも多彩な進展経路がみられた。
- 7. Cat scratch disease の画像診断 ~耳下腺リンパ節腫脹例の検討~
昭和大学・歯・歯放
木村幸紀, 花澤智美, 田谷あつ子, 岡野友宏

●教育講演 (15:05~15:45)

「頭頸部領域への 3D-CT の応用」 中里龍彦先生 (岩手医科大学医学部・放)
要旨: 近年のマルチスライス CT の発達により高速かつ isotropic voxel データの収集が実現された。これにより頭頸部領域においても信頼性の高い MPR, VR などの画像処理が容易となり, 病変がより明確に捉えられてきた。今回は 3D-CT の応用を歯科領域を含め紹介したい。

●教育講演 (16:00~16:40)

「High-resolution MRI of the Lung」 栗原泰之 (聖マリアンナ医科大学・放)
要旨: 肺実質の MRI は心肺運動、血流、磁化率などにより画像化は困難とされてきた。しかし血流信号を抑制する高速 SE 法による画質の改善と、画素を縮小化より高空間分解能と高コントラスト分解能を両立した。この HR-MRI の開発と臨床例を紹介する。

一般演題 (16:45~18:15) (発表5分, 討論3分)

- 1. MPO-ANCA 関連肺病変の一例
獨協医科大学・放 同・呼内¹⁾ 同・第一病理²⁾
荒川浩明, 田中生恵, 藤岡睦久, 福島康次¹⁾, 福田 健¹⁾, 増田浩之¹⁾, 本間浩一²⁾
要旨: 症例は 70 歳女性, 2ヶ月前より感冒様症状あり, CXR 上多発性異常影を呈した。MPO-ANCA 高値で, 腎生検にて壊死性腎炎, VATS 肺生検を行い MPO-ANCA 関連疾患と診断した。
- 2. クラミジア肺炎の HRCT 所見の検討
市立甲府病院・放 同・呼内¹⁾ 社会保険鎌沢病院・内²⁾ 山梨大学・放³⁾
南部敦史, 小澤克良¹⁾, 大木善之助¹⁾, 山口 弘¹⁾, 赤尾正樹²⁾, 斉藤彰俊³⁾, 荒木 力³⁾
要旨: 当院で経験した市中肺炎のうち, 抗クラミジア抗体高値かつ他の病原体検査陰性の肺炎症例 (クラミジア肺炎疑い例) の高分解能 CT 所見について肺炎球菌肺炎, マイコプラズマ肺炎と比較検討し報告する。
- 3. 胃癌転移を合併した心膜悪性中皮腫の一例
聖路加国際病院・放
負門克典, 松迫正樹, 渡辺文彦, 沼口雄治
要旨: 胃癌転移を合併した心膜悪性中皮腫の 1 例を経験したので報告する。69 歳男性, 心嚢液出現。精査にて心膜悪性中皮腫。上部消化管内視鏡にて幽門部胃癌も指摘。剖検では心膜悪性中皮腫内部に胃癌転移巣も認められた。
- 4. 著明な胸水貯留を伴った肋骨原発の骨膜性軟骨腫の一例
山梨大学・放 市立甲府病院・放¹⁾
加藤 聡, 斉藤彰俊, 南部敦史¹⁾, 荒木 力
要旨: 13 歳男性左胸部痛・胸水。CT で左第 6 肋骨に胸腔内に突出する石灰化を伴う腫瘤を認めた。悪性が疑われ切除術施行。骨膜性軟骨腫と診断され, 直接浸潤は認められなかった。外傷等の契機による胸水貯留と思われた。
- 5. 中枢側肺腺癌に合併した末梢多発肺梗塞の一例
昭和大学横浜市北部病院・放 同・呼吸器センター¹⁾ 同・病理²⁾
藤澤英文, 榑橋民生, 浮洲龍太郎, 市川珠紀, 北之園高志, 武中泰樹, 神尾義人¹⁾, 門倉光隆¹⁾, 塩川 章²⁾
要旨: 59 歳女性。近医の CT で右下葉 S8 中枢の肺癌と末梢の肺内転移が疑われ紹介された。当院 CT で腫瘍は増大し, 末梢胸膜下に新たな結節が出現していた。手術で右 S8 肺腺癌と末梢多発結節は血栓による肺梗塞と診断された。
- 6. ガリウム SPECT と MRI が心筋病変の評価に有用であったサルコイドーシスの一例
杏林大学・放 同・一内¹⁾
中嶋美佳, 横山健一, 鈴木清寿, 稲岡祥幸, 高橋修司, 関 恒明, 似鳥俊明, 蜂屋順一, 田所衛司¹⁾, 坂巻浩孝¹⁾, 後藤 元¹⁾
要旨: 53 才女性。サルコイドーシスの診断で当院呼吸器内科紹介受診。不整脈出現し心臓の精査施行。タリウムシンチで心筋の集積欠損像, ガリウム SPECT で心筋への異常集積, MRI で左室壁の異常信号が認められた。
- 7. Lymphomatoid granulomatosis が疑われた一例
旭川医科大学・放, 同・病理部¹⁾, 同・一内²⁾
稲岡 努, 高橋康二, 長沢研一, 佐藤宏朗, 徳差良彦¹⁾, 三代川齊之¹⁾, 高橋啓二²⁾, 油野民雄
要旨: 77 歳, 男性。1年前より, 左顔面神経麻痺出現。左難聴出現, ステロイド療法施行。肺病変出現, 胸腔下肺生検施行。病理診断で LYG とされた。

Mischの首道分兩 for M3mm → 星野の Lymphomatoid granulomatosis 肺生検

8. 巨大**プラ**と浸潤影を呈した稀な肺腺扁平上皮癌の一例
 東京女子医科大学・放 同・呼内¹⁾ 同・呼外²⁾ 同・病院病理³⁾
 藤村香織, 酒井文和, 木村文子, 藤村幹彦, 早野俊郎, 三橋紀夫, 兼村俊範¹⁾, 永井厚志¹⁾, 大貫恭正²⁾,
 西川俊郎³⁾

要旨: 症例は 49 歳男性。巨大プラと浸潤影で初発し, 術後も多発囊胞性陰影を呈して再発した稀な肺腺扁平上皮癌の 1 例を経験したので, CT 所見と病理学的所見を対比し, 文献的考察を加えて報告する。

9. 肺葉切除が施行された非定型抗酸菌症の二例 *← 空洞を伴った MAC 症. 空洞は 2 例とも MAC 症*
 日本医科大学付属第二病院・放
 椎葉真人, 二見長一郎, 阿部和也, 奥山孝男, 金城忠志, 梶原景子, 菊地真理, 林 敏彦,
 山本博人, 山本 彰, 佐藤雅史

要旨: 症例 1: 32 歳, 女性。住民検診で胸部異常陰影指摘された。自覚症状なく, 胸部単純写真で左上葉に多発性陰影, CT にて浸潤影と壁に結節を伴う空洞性陰影あり。非定型抗酸菌症とアスペルギルス症が疑われた。5 年後に大咯血にて再来し, 左上葉切除術が行われた。症例 2: 36 歳, 男性。会社検診で胸部異常陰影を指摘された。右肺尖に空洞性病巣, 喀痰中に抗酸菌 Gaffky 8 号が証明され, 抗結核療法受けるも, 約 1 年 2 ヶ月後に再燃と言われ, 当科再受診する。患者の希望もあり, 非定型抗酸菌の診断のもと右上葉切除術施行となる。 *MAC 症 - OFF*

10. 肺塞栓症; 単純写真と MDCT との対比
 都立荏原病院・放
 三角茂樹 吉廣昭子, 井田正博
 要旨: MDCT(4 列, 16 列)導入後に造影検査にて証明された肺塞栓症 9 例に対し, retrospective に単純写真所見(塞栓血管, Westermarck's Sign, Knuckle Sign 等)と比較検討する。

11. 右房に進展した浸潤性胸腺腫の一例
 埼玉県立循環器・呼吸器病センター・放
 加藤晃弘, 叶内 哲, 星 俊子
 要旨: 62 歳, 男性。平成 14 年 3 月に顔面浮腫が出現し近医受診。縦隔腫瘍指摘され当センター紹介。CT 等で両腕頭静脈~SVC を占拠し右房内へ至る mass 認め, 摘出術施行。心膜に進展した浸潤性胸腺腫であった。 *src* *blood thrombus*

第 28 回頭頸部放射線研究会 第 28 回胸部放射線研究会 東京部会プログラム

●日時: 平成 14 年 12 月 21 日 (土) 14:00~18:15

●会場: パークタワーホール (新宿パークタワー 3F)

東京都新宿区西新宿 3-7-1 電話 03-5322-6633

(注: 交通案内図は別紙を参照下さい)

※会場整理費として当日 1,000 円いただきます。

◎頭頸部放射線研究会東京部会

代表世話人: 黒崎喜久 (順天堂大) 辰野 聡 (東京慈恵医大)

山田恵子 (癌研病院)

世話人: 浮洲龍太郎 (昭和大学横浜市北部病院) 栗原宜子* (聖マリアンナ医大東横病院)

酒井 修 (ボストン大) 鈴木恵子 (東京女子医大) 塚本 浩 (清水市立病院)

顧問: 多田信平

◎胸部放射線研究会東京部会

代表世話人: 蜂屋順一 (杏林大) 酒井文和 (東京女子医大) 中島康雄 (聖マリアンナ医大)

世話人: 荒川浩明 (獨協医科大) 氏田万寿夫 (東京慈恵医大)

櫛橋民生 (昭和大学横浜市北部病院) 楠本昌彦 (国立がんセンター中央病院)

栗原泰之 (聖マリアンナ医大) 甲田英一 (立川共済病院)

佐藤雅史* (日本医大第二病院) 南 学 (東京大)

顧問: 土井 修

*は第 28 回当番世話人です。

演者へのお願い

- ◆スライドプロジェクターは 2 台使用です。
- ◆パソコン使用可能 (但しパソコンはご持参下さい)
- ◆ビデオ (SVHS) もご使用いただけます。

共催 頭頸部放射線研究会東京部会
 胸部放射線研究会東京部会
 田辺製薬株式会社, 栄研化学株式会社

事務局: 〒355-0055 東松山市松風台 4-62
 電話 0493-35-3305 FAX 0493-35-4587
 E-mail: ky2s-mtms@asahi-net.or.jp

●警告、効能・効果、用法・用量、使用上の注意は製品添付文書をご参照下さい。
 ●警告、使用上の注意の改訂に十分ご留意下さい。

製造発売元 [資料請求先]
 栄研化学株式会社
 東京都中央区本郷1丁目33番8号

販売元 [資料請求先]
 田辺製薬株式会社
 大阪市中央区道頓町3丁目2番10号

提携先
 ゲルベ社
 Gertel オールナー (フランス)
 1999年3月作成

27日
6/14(土)
6/21 追加
30日 山下
← 34